

平成28年度 町屋文化センター利用者懇談会 議事録

日 時 平成29年3月28日（火）午後4時00分～午後5時00分

場 所 町屋文化センター3階 第2会議室

出席者名 カルチャー講座関係ご利用者様2名
文化総合講座関係ご利用者様3名
貸出施設ご利用者様2名
読売・日本テレビ文化センター町屋 センター長
公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（ACC） 事務局長
公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（ACC） 管理係長
公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（ACC） 管 理 係 施設担当

1. 開会

2. 開会挨拶 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団 事務局長

3. 参加者紹介

4. 資料説明 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団 管理係長
ACC管理係長より、利用者の意見を反映させ、より良い施設運営を行うため利用者懇談会を実施する旨の説明を行った。

(1) 町屋文化センターアンケート調査の結果について

ACC管理係長より利用者アンケートの集計結果の説明および以下の通りアンケートに寄せられたご意見に対する考え、対応などについて説明を行った。

- ・ 自転車置場が不足しているというご意見について

以前から課題として上がっている問題だが、今年度は、施設利用者以外の無断駐輪を禁止する注意看板を新たに設置した。また、無断駐輪を防止する張紙を作成して更なる注意喚起も行い、課題解決に努めている。ただし、現時点で大幅な改善が図れていない状況であることから、今後は区と協力して無断駐輪している自転車の撤去も視野に検討を進めていきたい。

- ・ 施設・附帯設備が古いというご意見について

特にトイレや冷暖房の調整機能などの経年劣化が目立つようになっている。大規模な改修は区に要望を出しており、今後とも順次計画的に施設や設備の改修

を行っていききたい。なお、今年度は、電話機の入替を2月に行い、各部屋から内線電話で簡単に繋がるようになった。その他の設備や施設内の軽微な修繕についても、ご利用頂いている方のご要望を参考にしながら、順次改善を図ってまいりたい。

- ・ その他

今年度は、会議室内の棚や倉庫内の整理をして不要な物の処分をしている。長年置かれている物も多くあり、時間が掛かるが来年度も引き続き、整理作業を行ってまいりたい。

さらに、震災時の帰宅困難者一時受入のため、備蓄品を購入した。1区分当たりの利用者数を100名として、帰宅困難になる可能性がある方をその約半数の50名と想定。備蓄品は、その50名2日分、1日三食で300食と水300ℓを用意した。なお、今後とも区民及び利用者の安全安心を第一に、その他の設備や施設内の軽微な修繕についても、ご利用頂いている方のご要望を参考にしながら、順次改善を図ってまいりたい。

(2) 一日文化体験フェアの結果について

体験講座やミニステージ等、文化総合講座やカルチャー講座の講師により合計57講座を開催。その他、「芹洋子さんの特別講演会」を事前申込制で開催し、定員数120名に対して315名の応募をいただいた。

そして、「東日本大震災被災地応援」として岩手県釜石市の物産展を行った。また、今年度も福島県石川町からコシヒカリ、近隣商店から食事券等の商品を提供いただき、スタンプラリーやビンゴ大会を行った。その結果、来場者数は、昨年を上回る延べ1,200名と賑わった。

ご来場いただいた皆様からは、「これから習いたいと思っていた音楽を楽しめた」「ミニステージの距離感がとても良い」「年度末になるとこの企画が楽しみ」などのご意見をいただき大変好評であった。そして、講師や受講生からも「年齢を問わず楽しんでいただけた」「毎年このステージを目標にメンバーが頑張っているレッスンしています」とのご意見をいただいた。引き続き、工夫を凝らしながら継続していききたい。

5. 質疑について

懇談会出席者から以下のとおりご意見、ご要望があり、ACCが回答を行った。

貸出施設利用者：1階のトイレ清掃が隅々まで行き届いていない。

ACC回答：今後、清掃の徹底を図るよう指導していききたい。

貸出施設利用者：多目的ホールを利用しているが搬入時に荷さばき場を一時的に借りることは可能か？

A C C 回 答：区より民間運搬車の荷さばき場として町屋文化センター正面右側の一角が指定されている。その場所が空いていれば搬入時の短時間置くことは可能である。

貸出施設利用者：1階から入ってすぐに2階の受付がわかるよう案内を設置してはどうか。現在でも既存の表示があるが、実際に迷っている来館者を見かけるため、整備が必要ではないか。

A C C 回 答：現在でも既存の表示があるが、別途簡易な案内の設置を検討したい。

文化講座講関係：荒川区文化総合講座で使用する備品について

A C C 回 答：荒川区文化総合講座で使用する附帯設備以外の備品等については、文化総合講座の中で調整して使用していただきたい。

カルチャー関係者：体験フェアについて、第3・4会議室のステージをもう少し大きくすることはできないのか。

A C C 回 答：可動ステージの数が決まっており、多目的ホールと両方にステージを作っているためこれ以上大きくすることはできない。出演者が増える等、課題がある場合は、その都度ご意見を伺いながら工夫して対応していきたい。

カルチャー関係者：体験フェアでの音響設備について、音響専用スタッフを配置して、ヴォーカル用のマイクの使用ができないか。今回、設備面は十分ではなかったが、来場者への講座の紹介は十分できたと思う。

A C C 回 答：現在、ボーカル用マイクというのは取り扱っていない。また、音響専用のスタッフがいるわけではないので、来年度は、既存の音響設備を把握していただき、その範囲内でご協力いただけるよう十分な事前説明を心掛けたい。

6. 閉会挨拶 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団 事務局長

7. 閉会